

# 「カナダ・アメリカ」 に行ってきた

## ST・Sコース 修学旅行

12月8日から14日(5泊7日)の日程で、ST・Sコース(78名)は、カナダ・アメリカへの修学旅行を実施しました。

カナダではバンクーバーを拠点に、サレー市内の38家庭に、3泊のホームステイを行ないました。ホームステイでは、英語でのコミュニケーションの難しさを実感しながらも、初めは身振り手振りで自分の思いを伝えようと必死にもがきましたが、ステイ終了間際には、何とも言えぬ感覚と心から湧き上がる寂しさでいっぱいになりました。

滞在5日目には、バスで国境を越え、アメリカ・シアトル州へ。バイクプレイスマーケットや、程なく近い所に在るスターバックス1号店でショッピングや食事を楽しみました。

日本とは全く異なる空気や文化に直接触れ、今までに知ることのなかった世界と同時に新たな自身の発見をした者も少なからずです。このような貴重な体験ができたことは、これから訪れる日本での様々な局面に対し、大いに影響を及ぼすことは必然であろうと思われました。

今回、初めてのコース別修学旅行でしたが、高校生活の素晴らしい思い出の一つとなりました。



一組 坂田 直也

私は修学旅行を通して、英語力、特に単語力のなさを痛感しました。クラスメイトとの団体行動では、海外にいるという実感はあまり湧きませんでした。ホームステイは違った感じを受けました。そこでは英語で話す機会がたくさんあったので、常に緊張していました。日常会話の中で「単語さえ解れば」という状況に何度も直面し、普段の学校での(英語)学習の重要性を改めて実感しました。この修学旅行での経験を、今後の学習に活かしていきたいと思いました。



二組 興野 莉子

今回、カナダへの修学旅行では、とくにコミュニケーションのありかたについて考えさせられました。最も印象に残ったホームステイでは、直に外国の文化・習慣に触れ、その違いを知ることができたとともに、ホストファミリーとの

交流のなかで大切なことも学びました。たとえ流暢に英語が話せなくても積極的に行動することが必要だということでした。私は、修学旅行実行委員としても活動してきましたが、活動しながらいつも、自分から何かを発信することの難しさを感じていました。

カナダでの体験は、そうした自分を考え直すよい機会になりました。これからの生活に生かしていこうと思います。



三組 緑川 美里

今回の修学旅行で学べたことは、数えきれないほどたくさんありました。中でも特に、自分に対して影響を与えたことが2つありました。

一つ目は「英会話」についてです。ホームステイや学校交流の時、自分の英語が通じるとても不安でしたが、実際にその場に面してみると、結構通じるものでした。ただ、英会話は学校での英語の勉強内容とは多少違ったものがあると思いました。

二つ目は「異文化」についてです。異文化の中でも一番興味を持ったのは「食文化」でした。日本とは一味も二味も違う味付けに感動し、それが楽しく思えました。

以上のことを通して、私は世界の広さを実感し、外国の方と接する楽しさを知ることができました。はじめは嫌でしょうがなかったホームステイも、今となっては終わってみれば、すごく良い思い出と経験をいただきました。今後は、語学留学などもしてみたいという変化が私の中で見られるようになりそうです。



## 主任の独り言

### 「イマジン」

世界はなぜ一つになれないのだろう?内戦や紛争、戦争が絶えることのない人類の歴史は繰り返されてきた。人類は様々なことを学び、知恵や知識を身につけ、便利な文明をつくってきたにも関わらず、今でも互いに傷つけあっている。

どうして、簡単に許すことができないのだろう。どうして、ただ愛し合うことができないのだろう。

我が敬愛するアーティストの一人「忌野清志郎」が「イマジン」の中で歌い、言っている。

「天国はない。ただ空があるだけ。国境はない。ただ地球があるだけ。みんながそう思えば、かんたんなことさ。」

そう、同じようにそんなこと簡単だと思っている人は世界中にたくさんいるだろう。思っているだけ。違う。何かしたい。と思ってる人だっているだろう。これから社会(世界)に出ていく君たちは?ほら、仲間はこのにもいるぜ。今年の元旦の計は「世界平和のために」。これは毎年変わらない願いの一つだ。

※「イマジン」は言わずと知れた、ジョン・レノンの名曲。それをカバーしたもののが今回紹介した忌野清志郎の「イマジン」。歌詞の内容は同様の「LOVE & PEACE」を基本とした意味合いだが、清志郎の「イマジン」ほうがより平和的で愛に満ち溢れた表現になっている。と、思う。

## 今月のしゅていよう!

先日終わったばかりの大相撲「初場所」で、大記録が生まれたいことを御存知ですか?それは、横綱白鵬関が幕内優勝を33回飾ったことです。これまでは、昭和の大横綱といわれた大鵬関の32回でした。鵬関が見事に記録を更新しました。2学年の皆さんも、いよいよ最上級生になる時期が近づいてきましたね。これからは、学校生活、部活動でも委員会活動でも皆さんが中心となります。そして、自身の進路も実現しなくてはならなくなります。白鵬関は、毎日プレッシャーと重圧に押し潰されそうになりながらも稽古に精進したと話していました。また、優勝後のインタビューの中で、33回目の優勝が決まった瞬間に目標がなくなり、相撲を続けるか迷った、と話していました。目標を持つと、人は達成するために努力をします。無理なことも頑張ることが出来ます。今の3年生がそうです。しかし、目標が達成されると、努力をしなくなったり驕ったりします。白鵬関は、13日目の稀勢の里と取り組みで、取り直しの審議について、意見を言いました。意見を持つことは大切ですが、自分の立場や場の雰囲気をよく考えて発言や行動しなければなりません。皆さんも、目標を持ち、努力すること大切ですが、その後のこともよく考ながら一歩ずつ着実に大人への階段を上っていきましょう。(ゴ)

## 保護者の皆様へ

昨年度に引き続き、本校教職員は、お預かりするお子様の指導に常に全力であたります。しかし、目の届く範囲にも限界がございます。ご家庭内での生活状況、活動状況の把握につきましては、保護者の皆様のご協力が必要となります。以下の事項につきまして、ご理解の上、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

- 「容姿・頭髪・化粧等」朝の登校時、また帰宅時の制服の着こなしやピアス、アクセサリ、髪型、髪色等については、校則に準じたものであるか、毎時点検してください。
- 「欠席・遅刻・早退」病気などの諸事情でやむなく欠席、遅刻、早退する場合は、必ず保護者から学校(担任)に連絡を入れてください。
- 「登校時の持ち物」持ち物には必ず記名をお願いします。学校(学習)に必要なものは持つてこさせないでください。また貴重品の管理については自己責任となりますが、やむおえない場合は、担任に預けるなどしてください。カバンの形状は自由ですが、華美で目立つものは避けてください。「手ぶら」は禁止です。
- 「携帯電話」持ち込みはできませんが、校内での使用は一切禁止となります。学校生活では身に着けることなく、電源を切ってカバンにしまっておきます。万が一、使用した

り、音が鳴ってしまった場合は、学校で預からせてもらいます。

●「昼食・弁当」パンや弁当の販売はありませんが、当面は弁当を持たせてください。パン、ジュース類の自動販売機は校内に設置されています。

●「登下校時間」登校時間は始業5分前となっております。ST・Sコースは8時05分。A・Bコースは8時25分までに入室完了するよう、時間に余裕を持って送り出してください。

●「進路に関して」お子様の進路に関する相談や話し合いを、ご家庭内でも意識して設けて下さい。特に、経済面に関しては、盤石の構えで臨めるよう、事前調査や準備にあたることをお勧めします。

●「その他、友人関係等」友人関係や学校での出来事など、お子様と会話する機会を多く持つて、些細な言動や動向から状況把握に努めてください。

アルバイトは原則禁止となります。授業料減免制度や各種奨学金制度のご利用をお勧めします。

その他、何でも結構です。ご不明、ご心配なことがありましたら、学校までお問い合わせください。

全ては、お子様の「夢実現」のために…

(学年主任)